

# CALLERLAB

## PLUS DEFINITIONS



## プラス動作の定義

Revised August 20, 2025

2025年8月20日改訂7版



一般社団法人 日本スクエアダンス協会

©版權 1997, 2001, 2021 CALLERLAB, スクエアダンスコーラー国際協会。再印刷、再発行、使用料の発生しない写物製作はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しないインターネットでの刊行はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しない一部または全ての引用はこの文章表示を条件にこれを許可する。いかなる写物製作または刊行においても本書内の資料は変更されまた改訂されてはならない。

# 目次

前書 .....	1
ACEY DEUCEY (エイシーデューシー) .....	2
ALL 8 SPIN THE TOP (オールエイトスピンザトップ) .....	2
(ANYTHING) & ROLL ((何かの動作)アンドロール) .....	2
(ANYTHING) & SPREAD ((何かの動作)アンドスプレッド) .....	3
CHASE RIGHT (チェイスライト) .....	4
COORDINATE (コウオーディネイト) .....	5
CROSSFIRE (クロスファイア) .....	5
CUT THE DIAMOND (カットザダイヤモンド) .....	5
DIAMOND CIRCULATE (ダイヤモンドサーキュレイト) .....	5
DIXIE GRAND (ディキシーグランド) .....	6
EXPLODE AND (Anything) (エクスプロウドアンド(何かの動作)) .....	6
EXPLODE THE WAVE (エクスプロウドザウエイブ) .....	6
FAN THE TOP (ファンザトップ) .....	6
FLIP THE DIAMOND (フリップザダイヤモンド) .....	7
FOLLOW YOUR NEIGHBOR (フォロウユアネイバー) .....	7
GRAND SWING THRU (グランドスイングスルー) .....	7
LINEAR CYCLE (リニアサイクル) .....	7
LOAD THE BOAT (ロードザボート) .....	8
PEEL OFF (ピールオフ) .....	8
PEEL THE TOP (ピールザトップ) .....	9
PING PONG CIRCULATE (ピンポンサーキュレイト) .....	9
RELAY THE DEUCEY (リレイザデューシー) .....	9
SINGLE CIRCLE TO A WAVE (シングルサークルトゥアウエイブ) .....	10
SPIN CHAIN & EXCHANGE THE GEARS (スピンチェーンアンドエクスチェンジザギアーズ) .....	10
SPIN CHAIN THE GEARS (スピンチェーンザギアーズ) .....	11
TEACUP CHAIN (ティーカップチェーン) .....	12
TRACK 2 (トラックトゥー) .....	12
TRADE THE WAVE (トレイドザウエイブ) .....	13
TRIPLE SCOOT (トリプルスクート) .....	13
改訂履歴 .....	14

## 前書

### 目的

プラスプログラムにおいて使われる言葉や動作を明白に、簡便にまた単純に説明をするのが本プラスプログラムの定義の目的である。

### 1. 動作を始める隊形

動作を始める隊形は定義される動作のそれぞれに記されている。この隊形はそれぞれの定義が公認された時に、最も一般的に使われていた動作を始める隊形であるが、必ずしも唯一の可能な動作を始める隊形であるということではなく、スクエアダンス活動の本質を弾力的に鑑みて判断すべきである。

### 2. 向かい合っているダンサー

向かい合っているダンサーは、特に明記されていない場合、男性と女性のどのような組み合わせでもよい。

### 3. カプル

カプルは、特に明記されていない場合、男性と女性のどのような組み合わせでもよい。

### 4. 通り過ぎる時の規則

ダンサー2人が互いに歩を進めてぶつかりそうなときは、常に右肩で通り過ぎ、動作を続ける。

### 5. 同一位置の規則

ダンサー2人が互いに歩を進めて同じ位置に留まる必要があるときは、常に右手を取ってミニウエイブとなり、同じ位置を共有する。

### 6. 向かい合っているカプルの規則

ある動作によっては、オーシャンウエイブから行われる動作に多いが、向かい合っているカプルからでも同じように行うことができる(例えば、**All 8 Spin the Top**(オールエイトスピンザトップ)、**Grand Swing Thru**(グランドスイングスルー)、**Relay the Deucey**(リレイザデューシー)、**Spin Chain the Gears**(スピチェーンザギアーズ))。この場合、ダンサーはまず一歩進んで瞬時に右手のオーシャンウエイブを作り、その動作を完了する。コーラーが特に左手の動作(例えば、**レフトリレイザデューシー**)を指示した場合は、ダンサーは一歩進んで瞬時に左手のオーシャンウエイブを作り、その動作を完了する。

次の動作は向き合っているカプルからは行うことができない。すなわち、動作を始める隊形として(それぞれの動作定義に述べられているように)ミニウエイブまたはオーシャンウエイブを必要とする。

**Explode the Wave**(エクスプロウドザウエイブ)、**Explode and (Anything)**(エクスプロウドアンド(何かの動作))、**Follow Your Neighbor**(フォロウユアネイバー)、**Ping Pong Circulate**(ピンポンサーキュレイト)、**Trade the Wave**(トレイドザウエイブ)

### 7. オーシャンウエイブの規則

向かい合っているカプル(または向かい合っているライン)から普段行うことができる動作によっては、オーシャンウエイブ(またはタイダルウエイブ(例えば、**Load the Boat**(ロードザボート))からでも同じように行うことができる。この場合、ダンサーは既にお互いに歩を進めている状態にあり、指示された動作の残りを行って、その動作を完了する。ダンサーに教示し、理解させるためには、まず、向かい合っているカプル(または向かい合っているライン)に後退させ、改めて、オーシャンウエイブ(またはタイダルウエイブ)へ歩を進め、その動作を完了させることが必要かもしれない。

### 8. 地域的なスタイリングの違い

**CALLERLAB** では、スタイリングに地域的な違いが存在することを認めている。

## プラスプログラム動作の定義

### ACEY DEUCEY (エイシーデューシー)

動作を始める隊形: 平行なオーシャンウエイブ、またはトゥフェイスライン

タイミング: 4拍

動作: センターの4人が Trade (トレード) し、他が Circulate (サーキュレイト) を行う。他の隊形から行うことも認められるが、必ず4人のセンターと4人のエンズ (外側) がいなければならない。センターは Trade (トレード) ができる必要があり、エンズ (外側) は Circulate (サーキュレイト) ができる必要があり、またセンターにはなり得ない。

### ALL 8 SPIN THE TOP (オールエイトスピンザトップ)

動作を始める隊形: ザースター (静止状態または動作状態)、ロングウエイザー (静止状態または動作状態)、ライトアンドレフトグランドサークル

タイミング: 10拍。

動作: Thar Star (ザースター) または Wrong Way Thar (ロングウエイザー) から始める場合、すべての動きを止めて、センターで組まれているスター隊形を解いて、各センターにいるダンサーが外にいる隣のダンサーと Arm Turn (アームターン) を 1/2 (180度) 行う。中に入ってきた人は Star (スター) を 3/4 行い (前進し)、新しく外へ出た人は円周上を 1/4 前進し、同じ人と再び手を取り、静止した Thar Star (ザースター) または Wrong Way Thar (ロングウエイザー) 隊形で終わる。

Right & Left Grand Circle (ライトアンドレフトグランドサークル) から始める場合、向き合っているダンサーと、皆が右手で半分 (180度) 回転し、上記のように (新しく中に入った人は左手のスター 3/4 等) 動作を完了する。動作を終わる隊形は静止した Wrong Way Thar (ロングウエイザー) である。

Right & Left Grand Circle (ライトアンドレフトグランドサークル) から All 8 Left Spin the Top (オールエイトレフトスピンザトップ) のコールがあった場合、向かい合っているダンサーと、皆が左手で半分 (180度) 回転し、上記のように動作を完了する。動作を終わる隊形は静止した Thar Star (ザースター) 隊形である。

スタイリング: 最初の Arm Turn (アームターン) 1/2 (180度) は Forearm Turn (フォアアームターン) である。スター部分は Palm Star (パームスター) を使う標準的なスターで行う。外側を前進するダンサーは手を自然なダンス位置にとり、次の動作を適切に行えるよう備える。女性はスカートワークを行うとよい。

### (ANYTHING) & ROLL ((何かの動作) アンドロール)

動作を始める隊形: 種々

タイミング: 2拍

動作: "...& Roll (...アンドロール)" という言葉は、動作完了の際、定義によって、一人またはそれ以上のダンサーの身体の動きが右または左に回転要因を持ついかなる動作にも追加してよい。直前のコールにより定まる体が動く方向へ、一人で、その場で 1/4 (90度) 余分に回るというダンサーに対する指示である。

もし "...& Roll (...アンドロール)" が、動作完了の際、定義によって、ダンサーが直線上を動く場合は、このダンサーは "...& Roll (...アンドロール)" については何もしない。

スタイリング:Roll(ロール)に先行する動作(Anything-何かの動作)を完了する時は、取っている手をすべて離し、その場でのソロターン方向への勢いを失わないよう備える。腕は自然なダンス位置にとり、次の動作を適切に行えるよう備える。

**(ANYTHING) & SPREAD ((何かの動作)アンドスプレッド)**

タイミング：2拍

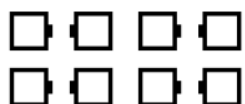
スプレッドの動作を始める隊形 ((Anything)コールが完了した時の隊形)：

ダブル・パス・スルー、エイト・チェーン・スルー、ライトハンドまたはレフトハンド・クォーターボックス、ジェネラル・ライン・オブ・フォー、ジェネラル・パラレル・ラインズ、ジェネラル・クロスド・ラインズ、ジェネラル・タイダル・ライン。

(下記フォーメーション注を参照)



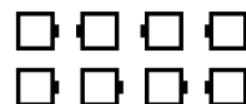
ダブル パス スルー



エイト チェイン スルー



ライト-ハンド  
クォーター ボックス



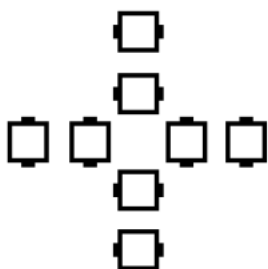
レフト-ハンド  
クォーター ボックス

**原文：In the diagrams below, a square with two “noses” indicates that the dancer in that position may be facing in either of two directions.**

以下の図において、二つの「鼻」がある正方形は、その位置にいるダンサーが二つの方向のいずれかを向いていることを示します。



ジェネラル ライン オブ フォー



ジェネラル クロスド ラインズ



ジェネラル タイダル ライン



ジェネラル パラレル ラインズ

ダンサーが (Anything) のコールを完了すると、センターズはスライドして離れ、エンズはそれぞれ前方または横方向に移動して、最も近い空いたセンターの位置に入る。センターズとエンズが位置を交換する場合、ボディーフローが不適切でない限りセンターズがエンズの前を通る。

動作を開始する隊形が、1列または2列のジェネラルラインの場合、スプレッドアクションは各ラインの中で行われる。

ダンサーは、先行する (Anything) コールが終了する際に、スプレッドアクションへ滑らかに移行するよう動作を調整する必要がある。

ジェネラルラインからスプレッドアクションの半分だけを行うと、ボックスが形成される。

コメント：以下の例は、一般的に用いられる応用例の一部を説明する。

センターズが離れてスライドし、エンズがその間へ前進する典型的な使用例：

- ・From Parallel Two-Faced Lines: Ferris Wheel and Spread
- ・From a Static Square: Heads Touch 1/4 and Spread

すべてのダンサーが向かい合ってスライドする典型的な使用例：

- From Parallel Waves: Follow Your Neighbor and Spread
- From a Right-Hand Tidal Wave: Grand Swing Thru and Spread
- From a Thar Star: All 8 Spin the Top and Spread
- From a Right-Hand Box: Follow Your Neighbor and 1/2 Spread (result is Facing Couples)

指定されたダンサーが向かい合ってスライドする典型的な使用例：

- From a Static Square: Sides Spin the Top and Spread (the Sides slide face-to-face)
- From BBGG waves: Spin the Top and the Girls Spread (just the Girls slide face-to-face)

センターがエンドの前を横切るが、向かい合わない典型的な使用例：

- From Parallel Two-Faced Lines: Acey Deucey and Spread
- From Parallel Two-Faced Lines: Fan the Top and Spread
- From Facing Lines: Bend the Line and Spread

典型的な使用例:ボディーフローに従いエンズの後ろでセンターがスライドする場合:

- From Lines Facing Out: Bend the Line and Spread

フォーメーション注記：

スクエア・セットから「ヘッズ・タッチ 1/4」で右手のクォーター・ボックスができる。

ザー・スターはジェネラル・クロスド・ラインズの例である。

歴史的注記：この定義は 2025 年に規則簡素化のため変更された。リーダーまたはアクティブが中央にいない場合の 8 人のダンサーの旧スプレッド動作（例：「ダブルパススルー・アンド・スプレッド」）は今となっては不適切である。多くの場合、「センターズ・イン」で代用可能。

## **CHASE RIGHT (チェイスライト)**

*動作を始める隊形:*背中合わせの二組のカプル

*タイミング:*6拍

*動作:*それぞれ右側にいるダンサーが大きな Zoom (ズーム) 動作を行い、その後ろの以前に右側にいたダンサーの位置を占め、Zoom (ズーム) 動作を始める前の時と同じ方向を向く。(結果だけを見ると、右側にいるダンサーは右回りのUターンバックをし、ボックスサーキュレイトを2回行った場合と同じになる。)

左側にいるダンサーは右側にいたダンサーに追従 (Chase) し、ボックスサーキュレイトを2回行う。動作を終わる隊形はボックスサーキュレイト隊形である。

*スタイリング:*全てのダンサーは、腕を自然なダンス位置にとる。女性はスカートワークを行ってもよい。右側にいるダンサーは角ばって曲がったりせず、流れるような動作を行う。二組(例えばヘッズ)がスクエアセットの中で Chase Right (チェイスライト)を行う場合は、Zoom (ズーム) 動作を行う人は極力小さく動いて、外のダンサーとの衝突を避けるのが重要である。同時に、Chase Right (チェイスライト)を行わない組は、もしゆとりがあって出来るならば、後ろに下がって、中で動作しやすいようにスペースを空けてください。

## COORDINATE (コウオーディネイト)

動作を始める隊形:カラム(プラスではカラムのみ)

タイミング:8拍

動作:Circulate(サーキュレイト)し、さらに1/2(半分)Circulate(サーキュレイト)。センターの6人(3組の隣り合ったペア)がTrade(トレイド)し、最もセンターのダンサー2人が取っている手を離して、ななめ外側に回転することなく歩を進め、2人の遠く離れたダンサーは1/4円前進する。カラムからのCoordinate(コウオーディネイト)は、トウフェイストラインで終わる。

スタイリング:センターの6人(3組の隣り合ったペア)はハンズアップで手を取り、Trade(トレイド)する。最もセンターのダンサー2人が取っている手を離して前進した後、すべてのダンサーはカプルの手の取り方で手をつなぐ。スカートワークを行う時間はない。

## CROSSFIRE (クロスファイア)

動作を始める隊形:トウフェイストライン、4人の平行したライン、インバーテッドライン

タイミング:6拍

動作:センターがTrade(トレイド)を始め、エンズはCross Fold(クロスフォールド)を行う。Trade(トレイド)を終わるとすぐセンターは手を離し、直進して向かい合うダンサーとオーシャンウェイブまたはミニウェイブを作る。Trade(トレイド)後に誰とも向かい合わない場合は、前進して外を向いたままである。

スタイリング:動作を始める隊形がトウフェイストラインの場合、Trade(トレイド)動作は手をハンズアップにとり、ミニウェイブのスタイリングに移行する。動作を始める隊形が4人の平行したラインで、センターが誰とも向かい合わないで動作を終える場合は、このカプルはカプルの手の取り方になる。

## CUT THE DIAMOND (カットザダイヤモンド)

動作を始める隊形:すべてのダイヤモンド

タイミング:6拍

動作:ダイヤモンドのセンターがDiamond Circulate(ダイヤモンドサーキュレイト)し、ダイヤモンドの次の位置へ移る。ポイントのダンサーは共に横にずれ(訳者注:近づくように)、Trade(トレイド)をする。ラインまたはウェイブで終わる。

スタイリング:普通のダイヤモンド隊形からはカプルの手の取り方に移り、動作を始める隊形が向かい合ったダイヤモンドの場合は、ベーシックのオーシャンウェイブとして必要であるハンズアップの手の取り方に移行する。

## DIAMOND CIRCULATE (ダイヤモンドサーキュレイト)

動作を始める隊形:すべてのダイヤモンド

タイミング:3拍

動作:ダンサーは、それぞれ自分のいるダイヤモンドの次の位置へ進み、方向を最初に向いていた方向から1/4(90度)ダイヤモンドの中心へ向かって変える。ポイントはセンターになり、センターはポイントになる。この動作が向かい合ったダイヤモンドに指示された場合、すべて右肩で通り過ぎる。

スタイリング:ダンサーはある位置から次の位置へ斜めに移動するが、ダイヤモンド隊形を維持することが重要

である。センターになるダンサーはオーシャンウェイブの時のようにハンズアップで手を取るようになる。ポイントとなるダンサーは自然なダンス位置に腕を維持する。女性はスカートワークを行ってもよい。

### **DIXIE GRAND (ディキシーグランド)**

動作を始める隊形:ディキシーグランドサークル、ダブルパススルー、1/4タッグ、又は、少なくとも2人のダンサーが動作を始めることができるすべての隊形

タイミング:6拍

動作:向かい合ったダンサーが右手を引っ張って通り過ぎることができるところから動作を始める。それぞれのダンサーはサークル上を前進して次の人に左手を出し、引っ張って通り過ぎ、次に右手で通り過ぎる。動作を始める隊形には関係なく、動作が進行するにつれて、隊形はサークルに変わる。

スタイリング:ベーシックの Right and Left Grand (ライトアンドレフトグランド) 動作の記述に同じである。ダンサーは握手の要領で、右手左手と交互に引っ張って進む。それぞれが互いに通り過ぎるところで手を離す。スカートワークは勧められない。

### **EXPLODE AND (Anything) (エクスプロードアンド(何かの動作))**

動作を始める隊形:全ての4人のオーシャンウェイブ (オーシャンウェイブからのみ)

タイミング:エクスプロード部分で2拍

動作:皆が取っている手を離して前進し、1/4(90度)中へ向いて、隣にいたダンサーと向き合い、(Anything) (何かの動作(例えば、Right and Left Thru (ライトアンドレフトスルー)、Star Thru (スタースルー)等)を行う。

スタイリング:全ての”Explode and・・・(エクスプロードアンド・・・)”動作では、それぞれの”Explode and・・・(エクスプロードアンド・・・)”動作に推奨されるスタイリングを使用する。

### **EXPLODE THE WAVE (エクスプロードザウェイブ)**

動作を始める隊形:全て4人のオーシャンウェイブ (オーシャンウェイブからのみ)

タイミング:6拍

動作:皆が取っている手を離して前進し、1/4(90度)中へ向いて、隣にいたダンサーと向き合い、その人を右手で引っ張って、背中合わせのカプルとなって終わる。

スタイリング:ダンサーが右手を引っ張って通り過ぎる時は、握手の手の取り方を使う。位置をはっきりとさせるため、動作の完了時にカプルで手を取る。

### **FAN THE TOP (ファンザトップ)**

動作を始める隊形:オーシャンウェイブ又はトゥフェイスライン

タイミング:4拍

動作:ラインまたはウェイブのセンターが3/4(270度)回転し、外側のダンサーは1/4円上を前進する。動作を始めた隊形から直角の位置で動作を終わる。センターズはセンターズのまま、エンズはエンズのままである。

スタイリング:センターのダンサーはハンズアップで手を取り、スタイリングは Swing Thru (スイングスルー)に

同じである。エンズは腕を自然なダンス位置にとり、次の動作の適切な手の位置に備える。

### **FLIP THE DIAMOND (フリップザダイヤモンド)**

*動作を始める隊形:すべてのダイヤモンド*

*タイミング:3拍*

*動作:*ダイヤモンドのセンターが **Diamond Circulate**(ダイヤモンドサーキュレイト)し、ダイヤモンドの次の位置へ移る。ポイントのダンサーが一番近いセンター位置へ **Run**(ラン) (“**Flip**(フリップ)”)をし、手をつないで出来上がるウェイブまたはラインのセンターとなる。向かい合っているダイヤモンドから“**Flip**(フリップ)”をするとき、ポイントのダンサーは常に内側を通り、センターのダンサーは常に外側を通る。

*スタイリング:*普通のダイヤモンド隊形からはベーシックのオーシャンウェイブとして必要であるハンズアップの手の取り方に移り、動作を始める隊形が向かい合ったダイヤモンドの場合は、カプルの手の取り方に移行する。

### **FOLLOW YOUR NEIGHBOR (フォロユアネイバー)**

*動作を始める隊形:ボックスサーキュレイト、シングル クォーター タッグ*

*タイミング:6拍*

*動作:***Box Circulate**(ボックスサーキュレイト)から:トレイラーがエクステンドして前腕をとって **Arm Turn 3/4**(3/4回転)する間に、リーダーは前に出てパートナーの方へ小さく輪を描くように3/4回転(270度)してオーシャンウェイブのエンズで終わる。フォロユアネイバーの動作は分割できない。

**Single 1/4 Tag**(シングルクォータータッグ)から:すべてのダンサーがトレイラーの動作(エクステンド、アームターン3/4)を行う。

右手のボックスサーキュレイトから始めた場合は、左手のオーシャンウェイブで終わる。

右手の **Single 1/4 Tag**(シングルクォータータッグ)から始めた場合は、右手のオーシャンウェイブで終わる。

*スタイリング:***Arm Turn 3/4**(アームターン3/4)をする人は、前腕を取り合って廻り、動作の終わりには、普通のオーシャンウェイブの手の持ち方に変える。

### **GRAND SWING THRU (グランドスイングスルー)**

*動作を始める隊形:タイダルウェイブ、6人のオーシャンウェイブ*

*タイミング:6拍*

*動作:*できる人が右手で1/2(180度)回り、次にできる人が左手で1/2(180度)回る。もし **Grand Swing Thru**(グランドスイングスルー)がコールされる前に“**Right**(ライト)”と特に言われなくても、右手の **Grand Swing Thru**(グランドスイングスルー)であると理解される。**Grand Left Swing Thru**(グランドレフトスイングスルー)を必要とする場合は、特に“**Grand Left Swing Thru**(グランドレフトスイングスルー)”と指示しなければならず、この場合、できる人が左手で1/2(180度)回り、次にできる人が右手で1/2(180度)回る。

*スタイリング:*ベーシックの **Swing Thru**(スイングスルー)に記述されたものとまったく同じである。

### **LINEAR CYCLE (リニアサイクル)**

*動作を始める隊形:*一般的なライン(プラスでは、このコールはウェイブからに限定される)

タイミング:8, 10拍

動作:これは3つのパートからなるコールである:

- 1.それぞれ外側にいる人とその内側にいる人がヒンジする
- 2.一連の動きで、トレイラーがダブルパススルー(または、フォールドの前に両方のミニウエイブが左手だった場合はレフトダブルパススルー)を始めると同時に、リーダーはフォールド(トレイラーの後ろ)をする。
- 3.ダンサーがダブルパススルーを終える時、タンデム<sup>※1</sup>ダンサーの各ペアは、フォールドを行う前のミニウエイブで取っていた手に応じて、右か左にピールする。エンディングフォーメーションはフェイスングカプルとなる。  
(<sup>※1</sup> 訳者注:タンデム=2人のダンサーが同じ方向を向いて縦に並んだ状態)

スタイリング:最初のパートはヒンジの標準的なスタイリングで行う。その後、ダンサーは手を下ろし、腕は自然なダンス位置で踊り、コールが完了する時はカプルの手の取り方で再び手をつなぐ。

### **LOAD THE BOAT (ロードザボート)**

動作を始める隊形:センターズが中を向きそれぞれのラインのエンズが同じ方向(中か外)を向いている4人のライン

タイミング:12拍

動作:エンドのダンサーは前進して外を回り、動いてくる3人のエンドのダンサーを右肩で通り過ぎ、1/4(90度)中を向いて、3番目に通り過ぎた人の隣に立ち、セットの中心を向いてカプルで終わる。同時に、センターの4人のダンサーは Pass Thru(パススルー)をし、この瞬時のパートナーと背中合わせとなる。そして新しいパートナーと Partner Trade(パートナートレード)を行い、Pass Thru(パススルー)をする。

スタイリング:エンドダンサーは外側を移動するが、センターダンサーが動きやすいよう十分な空間を残して動く。腕は動作中自然なダンス位置にとり、次の動作に適切な手の位置に移る。

### **PEEL OFF (ピールオフ)**

動作を始める隊形:縦に並んだカプル、ボックスサーキュレイト、又はZ隊形

タイミング:4拍

動作:前にいるダンサーは、動作を始める隊形の中心から離れるように半円を描いて歩を進め、4人のダンサーのラインのエンズとなる。後ろにいるダンサーは必要に応じて前進し、同じラインのセンターズとなり、動作を始める隊形の中心から反対方向を向くように U-Turn Back(ユーターンバック)を行う。すべてのダンサーは4人のダンサーのラインで終わる。それぞれのダンサーは1/2(180度)回転し、動作を始めた方向から反対方向を向いて動作を終ることになる。縦に並んだカプルからの Peel Off(ピールオフ)はワンフェイスラインで終わり、ボックスサーキュレイト又はZ隊形からの Peel Off(ピールオフ)はトゥフェイスラインで終わる。

注釈:Peel Off(ピールオフ)後は皆が Roll(ロール)できる。ダンサーは円滑な連続した動きで移動し、分割はできない。終わりの隊形のセンターは動作を始めた隊形のセンターと同じである。

縦に並んだ関係にあり、離れて反対方向へ動く対象のセンターがいる2人のダンサーはあたかもボックスサーキュレイト隊形にあり、Peel Off(ピールオフ)を行うことができる(例えば、オーシャンウエイブのエンズ、ダイヤモンドのポイント)。この場合、元の前にはいたダンサー位置と後ろにいたダンサー位置の間でカプルとして動作を終わる。

スタイリング:腕は自然なダンス位置にとり、次の動作に適切な位置になるよう備える。前にいるダンサーは、

“ピール”動作を始める前少し前に出ることが重要である。

## **PEEL THE TOP (ピールザトップ)**

動作を始める隊形:ボックスサーキュレイト、又はZ隊形

タイミング:6拍

動作:前にいるダンサーは Peel Off(ピールオフ)し、後ろにいるダンサーは直進し互いに隣り合う手を取り、皆で Fan the Top(ファンザトップ)を行う。

スタイリング:前にいるダンサーは腕を自然なダンス位置にとり、次のコールに備えて適切な位置に調整する。前にいるダンサーは、“ピール”動作を始める前少し前に出ることが重要である。後ろにいるダンサーは手の位置をハンズアップにとり、ベーシックの Swing Thru(スイングスルー)に記述されたスタイリングに従う。

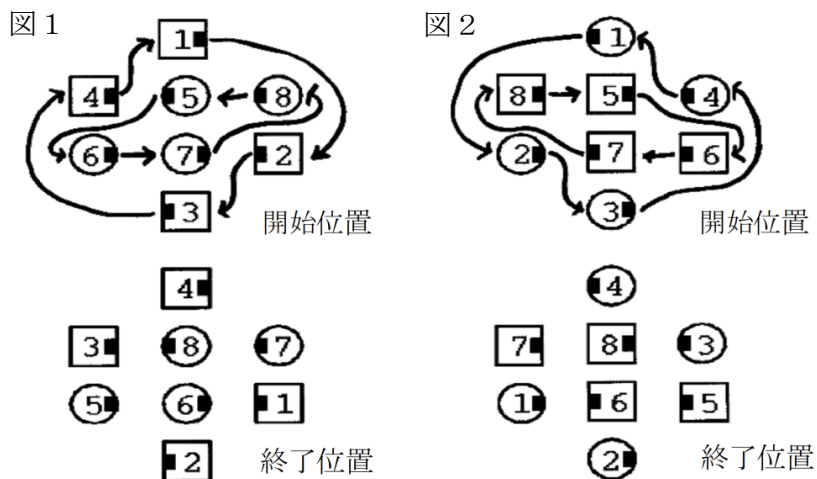
## **PING PONG CIRCULATE (ピンポンサーキュレイト)**

動作を始める隊形:1/4タッグ

タイミング:6拍

動作:この動作は1/4タッグ隊形に始まり、1/4タッグ隊形で終わる。それぞれのダンサーは Circulate(サーキュレイト)、すなわち、図1に示す軌道に沿って位置を一つ前進する。中心が左手のウェイブである場合もまたコール可能で、この場合は、Circulate(サーキュレイト)の軌道を図2に示す。

Circulate(サーキュレイト)の軌道は互いに独立していることに注意すべきである。したがって、外側の軌道にいる人のみ(図1及び2の1、2、3、4番のダンサー)が Ping Pong Circulate(ピンポンサーキュレイト)でき、内側の軌道にいる人のみ(図1及び2の5、6、7、8番のダンサー)が Ping Pong Circulate(ピンポンサーキュレイト)できる。



スタイリング:以前に記述のあるベーシックの Pass Thru(パススルー)と Partner Trade(パートナートレード)に同じ。センターにいるダンサーはベーシックのオーシャンウェイブのスタイリングに同じ。外にいるダンサーはカプルの手の取り方。

## **RELAY THE DEUCEY (リレイザデューシー)**

動作を始める隊形:平行なオーシャンウェイブ

タイミング:20拍

動作:この定義内におけるすべての Circulate(サーキュレイト)については、動作を始める時のオーシャンウ

ウェイブのエンズが最初に動く **Circulate** (サーキュレイト) の軌跡を踏襲します。動作中のダンサーは決して止まってははいけません。本定義内で絶え間があるように書かれているが(例えば、”Half Circulate (ハーフサーキュレイト) “として書かれている動作など)、これははっきりと説明し、講習する時のためだけのものである。

それぞれのエンドと隣り合うセンターダンサーは1/2 (180度) 回る。各オーシャンウェイブの新しいセンターは3/4 (270度) 回転、その他のダンサーは **Half Circulate** (ハーフサーキュレイト) し、6人のウェイブと2人の離れたダンサー状態を作る。6人のウェイブは3組で1/2回転し、その間、他が **Half Circulate** (ハーフサーキュレイト) する。6人のウェイブのセンター4人は1/2回転し、その間、他の4人は **Half Circulate** (ハーフサーキュレイト) する。6人のウェイブは再び3組で1/2回転し、その間、他が **Half Circulate** (ハーフサーキュレイト) する。最後に、ウェイブのセンター4人が3/4回り(新しいウェイブのセンターとなり)、外側の4人は **Half Circulate** (ハーフサーキュレイト) し、最終ウェイブのエンズとなる。

**スタイリング:** オーシャンウェイブ隊形内の回転動作にはベーシックの **Swing Thru** (スイングスルー) におけるスタイリングを使う。 **Circulate** (サーキュレイト) するダンサーは腕を自然なダンス位置にとって動き、動作を終わるにあたりハンズアップのオーシャンウェイブ隊形に移行する。

### **SINGLE CIRCLE TO A WAVE (シングルサークルトゥアウェイブ)**

**動作を始める隊形:** 向かい合ったダンサー

**タイミング:** 4拍

**動作:** 向かい合ったダンサーは互いに手を取り、 **Circle Left** (サークルレフト) を半分行う。止まらずに、互いに手を離し、個々に **Veer Left** (ビアレフト) して、ミニウェイブへ移行する。もしコーラーが”**Single Circle 3/4 to a Wave** (シングルサークルスリークォーターズトゥアウェイブ)”と指示した場合は、向かい合ったダンサーは互いに手を取り、 **Circle Left** (サークルレフト) を3/4行い、上記のように残りの動作を続けて行う。

**スタイリング:** サークルを行うとき2人のダンサーは少し左にずれ、サークルするダンスパートナーを前に置くよりいっくら右に置く。なめらかなダンスステップを使い、バタバタと歩かない。互いに手を取りサークルする時は、男性が手のひらを上に向け、女性が手のひらを下に向ける。腕は肘を気楽に曲げて、サークル時に少し力を入れる。ハンズアップのオーシャンウェイブになる。

### **SPIN CHAIN & EXCHANGE THE GEARS (スピンチェーンアンドエクスチェンジザギアーズ)**

**動作を始める隊形:** オーシャンウェイブ

**動作:** それぞれのエンズと隣り合うセンターズが1/2回転する。各オーシャンウェイブの新しいセンターズは3/4回転し、中央にオーシャンウェイブをつくる。エンズは(エンズランをするように内回りに180度)フリップインする。最も中心にいる人(ベリーセンター)が1/2回転した後、セットの半分それぞれが4人のスター(ギア)を作り、3/4回転する。



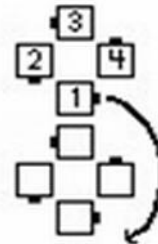
動作開始前



全員が1/2回転した後



スター3/4回転の開始前

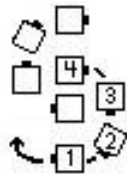
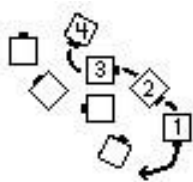


スター3/4後の番号位置とエクスチェンジの循環路を示す

ベリーセンターそれぞれ(一人は図示した1番の人)がリードして、スターにいる次の人たち(2番、3番、4番)

を引き連れて、循環路にそって反対側のスターからくる別の人たちの外側へ移動する(エクステンジ)。  
1番の人は3/4回り込み、3番の人は1/4回り込むと、1番と3番は内側へフリップし、オーシャンウェイブのセンターとなり、2番と4番のダンサーは引き続き循環路にそって移動し、前にいるダンサーとその内側の手を取ってオーシャンウェイブのエンズとなる。コールは、同じ手の取り方のウェイブで、初めのウェイブと同じような位置で終わる。

(訳者注:右手のウェイブから始まれば右手、左手から始まれば左手のウェイブで、センターズはセンターズで、エンズはエンズで終わる、の意)



スターから続けてエク  
ステンジを始める

エクステンジを続ける

リーダーは3/4回り  
込み、3番の人は1/4回  
り込む

1番と3番はフリッ  
プインし、2番と4番  
はエンズとなる

スタイリング:オーシャンウェイブやスターの回転は、標準的なスタイリングで行う。

コールの冒頭で、センターズターン3/4をする時、他のダンサーはしっかり動かないでいて、その後にフリップインをする時には、素早く他の手を高く上げてスターを作る。

スターを回転してエクステンジをする時、4人のグループはそれぞれS字のような循環路をスムーズに移動する。エクステンジをしてオーシャンウェイブの隊形を作る動作は、一つの連続した動作である。それぞれのスターを作るとき(スターを回転する前)、エクステンジをリードするダンサーは外側の手を上げて、“フォローミー(続いて来て)”というように示すのがふつうである。その手はスターを回転し、エクステンジを行う間上げたままにし、終わりのウェイブを作るときに後につづくダンサーの内側となる手をスムーズに取る。

コメント:向かい合ったカプルの規則を適用する。

コーラーによってはスターを回す”3/4の分数”を変えることがあるが、この場合異なったダンサーが1番となり、エクステンジをリードする。

## **SPIN CHAIN THE GEARS (スピンチェーンザギアーズ)**

動作を始める隊形:オーシャンウェイブ

タイミング:24拍

動作:それぞれのエンズと隣り合うセンターズが1/2回転(180度)する。それぞれのオーシャンウェイブの新しいセンターズは3/4回転し、中央にオーシャンウェイブをつくる。エンズは(エンズランをするように内回りに180度)フリップインする。最も中心にいる人(ベリーセンター)が1/2回転した後、セットの半分それぞれが4人のスター(ギア)を作り、3/4回転する。ベリーセンターは1/2回転する。センターオーシャンウェイブはそれぞれの2人(センターズとエンズ)で3/4回転する。この間、他の4人のダンサーは外回りにフリップアウト(センターズランをするように外側に向けて180度)する。コールは、同じ手の取り方のウェイブで、初めのウェイブと同じような位置で終わる。

(訳者注:右手のウェイブから始まれば右手、左手から始まれば左手のウェイブで、センターズはセンターズで、エンズはエンズで終わる、の意)。

スタイリング:オーシャンウェイブやスターの回転は、標準的なスタイリングで行う。

始めに **Centers Turn 3/4**(センターズターン3/4)をする時、他のダンサーはしっかり動かないでいて、その後にはフリップインをする時には、素早く他の手を高く上げてスターを作る。

(訳者注:この変更で、半回転の動作の記述が **Trade**(トレイド)から**1/2回転(180度)**に改定されています。)

コメント:向かい合ったカプルの規則を適用する。

コーラーによってはスターを回す”3/4の分数”を変えることがあるが、この場合異なったダンサーがベリーセンターとなりトレイドする。

## **TEACUP CHAIN (ティーカップチェーン)**

**動作を始める隊形:**スクエアセットまたは誰もが先行してパートナーと **Left Arm Turn**(レフトアームターン)を行っている隊形

**タイミング:**32拍

**動作:**コーラーは動作を始めるにあたって、中心に向かって移動する2人の女性を指定する。例えば、”**Head Ladies Center for a Teacup Chain**(ヘッドレイディースセンターフォーアティーカップチェーン)”である。

以下の定義ではこの2人の女性を“指示された女性”と呼ぶ。

指示された女性(ヘッドの両女性又はサイドの両女性)が中心に移動して **Star Right 3/4**(スターライトスリークォーターズ)し、コーナーと会って **Left Arm Turn**(レフトアームターン)を行う。同時に他の2人の女性はスクエアセットの周囲を回ってコーナーまで移動し、**Right Arm Turn**(ライトアームターン)を行う。**Arm Turn**(アームターン)に続いて、指示された女性はスクエアセットの周囲を回って新しいコーナーまで移動し、**Right Arm Turn**(ライトアームターン)を行う。その間、他の女性は中心に移動して **Star Left 1&1/4**(スターレフトワンスアンドアクォーター)し、新しいコーナーと会って **Right Arm Turn**(ライトアームターン)を行う。

更に、指示された女性は中心に移動して **Star Left 1&1/4**(スターレフトワンスアンドアクォーター)し、新しいコーナーと会って **Right Arm Turn**(ライトアームターン)を行う。他の女性は(スクエアセットの周囲を回って)新しいコーナーまで移動し、**Left Arm Turn**(レフトアームターン)を行う。

最後に、指示された女性は新しいコーナー(オリジナルパートナー)まで移動し、次に続く指示により **Courtesy Turn**(カーテシーターン)または **Left Arm Turn**(レフトアームターン)で終わる。一方、他の女性は中心に移動して **Star Right 3/4**(スターライトスリークォーターズ)し、新しいコーナー(オリジナルパートナー)と会って、次に続く指示により **Courtesy Turn**(カーテシーターン)または **Left Arm Turn**(レフトアームターン)で終わる。皆男性も女性もそのオリジナルパートナーとともに動作を終わる。

もしコーラーが男性に女性の動作、女性に男性の動作を、上記に説明したように行わせたい場合、動作を始める隊形は、スクエアセットで全てのカプルが **Half Sashay**(ハーフサシェイ)した形か、または誰もが先行してパートナーと **Left Arm Turn**(レフトアームターン)を行っている隊形である。“**Head/Side Men Center for a Teacup Chain**(ヘッド/サイドメンセンターフォーアティーカップチェーン)”が適切なコールである。

**スタイリング:****Star**(スター)の形で回転するセンターダンサーはハンズアップの手を使う。外にいるダンサーとの回転は皆フォアアームで行う。次に続く指示がない場合は、前述したように、**Courtesy Turn**(カーテシーターン)で動作を終わる。外にいるダンサー(通常は男性)はフォアアームターンを交互に自然な形で行い、ピボットターンのように動くのではなく、できるだけ優雅な動きを行う。女性は外側の手によるスカートワークでこのベーシックをより美しく強調できる。

## **TRACK 2 (トラックトゥー)**

動作を始める隊形:ダブルパススルーを終わった隊形

タイミング:8拍

動作:ダンサーは“タンデム”で、前後の関係を保って動く。すなわち、後ろのダンサーが前のダンサーに追従する。右側の“Track(行路)”にいる人は、Single File(シングルファイル)で左方向へ反時計回りに移動し、左側の“Track(行路)”にいるダンサーの内側を維持する。左側の“Track(行路)”にいるダンサーは、Single File(シングルファイル)で右方向へ時計回りに移動し、外側を保つ。動作は Double Pass Thru(ダブルパススルー)のように動きが続き、ダンサーは平行した右手のオーシャンウェイブになって終わる。

スタイリング:ダンサーは同時に反対方向へ進むので、互いに十分な余裕を持って動くことが重要である。外側の人はセンターを動く人が窮屈にならないように気を付けなければならない。すべてのダンサーは腕を自然なダンス位置にとり、動作の終了にあたってオーシャンウェイブでのハンズアップに移行する。

### **TRADE THE WAVE (トレイザウェイブ)**

動作を始める隊形:4人のオーシャンウェイブのすべて

タイミング:6拍

動作:ウェイブで同じ方向を向いているダンサーが互いに Trade(トレイ)する。右手のウェイブは左手のウェイブになり、左手のウェイブは右手のウェイブになる。ウェイブのエンズはセンターズとなり、ウェイブのセンターズはエンズとなる。

スタイリング:すべての Trade(トレイ)に同じであるが、ダンサーは最初に少し前進し、ウェイブを出してから Trade(トレイ)を行うダンサーのほうへ方向を変える。ベーシックのオーシャンウェイブのスタイリングにおけるハンズアップの位置で手を取る。

### **TRIPLE SCOOT (トリプルスクート)**

動作を始める隊形:カラム

タイミング:6拍

動作:お互いに斜めに向かい合ったダンサー(三つのペア)が、前に出てお互いに接した前腕を取りあって、1/2回転(180度)したあと、一歩前に進んで、始めにカラムの隣にいたダンサーがあけた場所で終わる。

一方で各カラムの#1ダンサーは、隣に接した#4ダンサー(前腕で回転している)が明けた場所に Run In する。

右手のカラム(Right-Hand Columns)から始めるとき、斜めに向かい合っているダンサーは、右手で回転し、左手カラム(Left-Hand Columns)の時は、左手回転となる。

## 改訂履歴

この表は、プラス動作の定義における改訂履歴です。次のように改訂が行われています。

改訂年月日	改訂内容
2002/08/07	Fan the Top (ファンザトップ) を追加。メインストリームプログラムから削除。 Eight Chain Thru (エイトチェインスルー) を追加。メインストリームプログラムから削除。 Spin Chain Thru (スピンチェインスルー) を追加。メインストリームプログラムから削除。
2003/03/18	地域的なスタイリングの違いを序文に追加。
2003/09/01	Eight Chain Thru (エイトチェインスルー) を削除。
2004/04/05	1 ページにおける“地域的な違い”についての“8”を“6”に変更。
2004/10/22	Acey Deucey (エイシーデューシー)、Coordinate (コウオーディネイト)、Peel Off (ピールオフ) の定義を変更。
2004/12/01	“前書”の形式を再変更。
2004/12/15	定義形式をいくつか変更。
2006/09/21	Spin Chain Thru (スピンチェインスルー) を削除。
2006/10/02	3/4 Tag the Line (スリー クォーター タッグザライン) のタイミングを5に変更。
2007/08/31	All Eight Spin the Top (オールエイトスピンザトップ) の定義を修正。
2010/11/30	Linear Cycle (リニアサイクル) のタイミングを8-10に変更。
2010/12/08	Coordinate (コウオーディネイト) の定義を変更。
2010/12/29	2 ページの PLUS MOVEMENTS (プラス動作) を PLUS PROGRAM DEFINITIONS (プラスプログラムの定義) に変更。
2011/09/26	Acey Deucey (エイシーデューシー) の定義形式と誤植の修正。 目次の更新。
2012/01/09	Ocean Wave Rule (オーシャンウェイブの規則) に閉じ括弧を追加。
2014/12/22	Spin Chain & Exchange the Gears (スピンチェインアンドエクスチェンジザギアーズ) の定義変更。
2015/04/29	角度の表示記号を変更。
2015/09/03	Extend (エクステンド) を削除。(分割も含めてメインストリームプログラムに統合)。
2016/01/12	Follow Your Neighbor (フォローユアネイバー) の定義変更
2018/01/31	角度表示記号 <sup>°</sup> を Grand Swing Thru 180°のように正した。(日本語表記は「度」)
2018/09/22	3/4 Tag (スリー クォーター タッグ) をメインストリームプログラムに移動。
2021/10/28	Spin Chain the Gears (スピンチェインザギアーズ) ならびに Spin Chain & Exchange the Gears (スピンチェインアンドエクスチェンジザギアーズ) を修正。 Triple Scoot を追加。Track II の表示を Track 2 に変更。
2023/06/14	Linear Cycle (リニアサイクル) を修正。 <i>Starting formation</i> (動作を始める隊形)、 <i>Styling</i> (スタイリング)、 <i>Comments</i> (コメント) をイタリック体に変更した。
2025/8/20	(Anything) & Spread の定義を変更した

この資料は CALLERLAB の許諾を得て、一般社団法人日本スクエアダンス協会国際交流委員会委員の尾崎隆敏氏に翻訳していただき、2013 年に初版を発行致しました。その後、SD 小委員の久力義之氏が翻訳を引き継ぎ、2024 年より SD 小委員会が翻訳を行っています。

翻訳文の内容については、技術委員会・SD 小委員会が確認・承認をしています。

2013 年 2 月 26 日 初版発行  
2015 年 12 月 15 日 改訂 2 版発行  
2016 年 2 月 10 日 改訂 3 版発行  
2018 年 9 月 22 日 改訂 4 版発行  
2021 年 12 月 20 日 改訂 5 版発行  
2024 年 11 月 1 日 改訂 6 版発行  
2026 年 4 月 11 日 改訂 7 版発行

発行：一般社団法人日本スクエアダンス協会